



熟年ネット・ひたち
定年退職者と主婦の市民活動グループ

熟年
J-net

監修・発行 熟年ネット・ひたち

平成21年12月

平均	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人数	15	37	41	45	43	43	50	58	58	64	63	68	66	62	63

会員数の推移 (含む会友)



品中

仲間つくり、生きかゝり、大好きな方々つくり

活動の基本

シニアライフを豊かに（お役に立って楽しく）生きる

創設の理念

15年を振り返って

この度「熊年ネット・ひたち」創立15周年を明るく迎えることが出来ました。これはひとえに会員・会友の皆様のご努力と、地域の皆様のご指導ご支援のためものであり心より感謝申し上げます。



したことはより良い選択でした。
 会の理念を「シニアライフを豊かに生きる」、活動の基本を「仲間づく
 り、生きがいづくり、大好きいたちづくり」とし、自由と平等、みんなで
 企画・行動・楽しみ・役立てることで活動を進めました。この考えを定着
 させるためには幾つかの壁がありましたが、会員の皆様の積極的なご協力
 と、女性セクターを活動の場として快く使用させていただいたことに由り
 平成12年に会員募集を兼ねて「シニア地域入門講座」を立ち上げまし
 したが、この試みも大成功でした。現会員・会友の8割が「シニア地域入門
 講座」修了者であることが、その効果を示しています。平成19年からは
 日立市社会福祉協議会と共催へと発展し、お互いの特色を活かして効果的
 な活動を進めています。
 クループ内の活動は割合順調に成長したのですが、地域への進出は容易
 なことではありません。その先駆者がハーモニカ出前演奏の「ハーモニ
 カフレンズ」です。大変な努力を重ねながら各地に広がって行く活動は、良
 き先例となりました。
 以降、「クループ・ピニオン」「ひたちおもちやの病院」ほか多くのボ
 ランティア活動グループが生まれ、目標としていた活動が幅広く展開され
 ています。これらの活動にご指導ご支援をいただいている日立市社会福祉
 協議会に厚く御礼申し上げます。
 私たちのグループ「熟年ネット・ひたち」は、会員会友の皆様「和」
 の力により、自立的な市民活動として先駆的な役割を果たしていると思
 っています。これからも、私たちの活動を伸ばし広める
 ために、皆様ますますのご協力をお願い申し上げますと共に、地域の皆
 様のますますのご指導ご支援をお願い申し上げます。
 最後になりましたが、皆様の健康と繁栄をご祈念申し上げ15周年を迎
 えてのご挨拶とさせていただきます。

平成21年12月 熟年ネット・ひたち
代表世話人 掛札 優



年表と写真でつづる「熟年ネット・ひたち」15年のあゆみ

年	主 な 出 来 事
H6	講演会開催「充実した熟年を楽しむために」(講師 鈴木啓三氏) (11 月)
H7 1995	「 熟年研究会 」発足 活動方針など検討 参加者 12 名で夢を語り合う (1 月)
	自主グループ第 1 号 ハーモニカバンド「 ハーモニーフレンズ 」発足 (2 月)
	「百年塾・公民館・福祉」について学習し懇親会開催 (3 月)
H8 1996	「熟年研究会」の活動が茨城新聞に掲載 (1 月)
	茨城大学小島教授の講演会「楽しい熟年を迎えるために」を開催 (3 月)
	会報の創刊号発行 役員紹介と講座の紹介 (5 月)
	教育テレビ「男と女の生活学」で活動事例が放映 活動の励みになった (5 月)
	第 1 回学習会「定年後を楽しく過ごすために」と交流会を開催 (5 月)
H10 1998	第 1 回年末交流会開催 (12 月)
	「 熟年研究会 」の理念「 シニアライフを豊かに生きる、生き生き J-net 」と決定 (3 月)
	「さくら祭り」手伝い「日鉱記念館・小平記念館見学」のガイド実施 (4 月)
H11 1999	年間計画に基づく楽習会などの活動開始 (4 月)
	会員のパソコン力向上と普及を図るための「 パソコン研究会 」発足 (5 月)
	「井戸端会議」の始まり (5 月)
	「定年後を豊かに生きる」をテーマとする 第 1 回「シニア地域入門講座」 開講 (7 月)
H12 2000	本山地区「ご大典のさくら」のてんぐ巣病防除の手伝い (12 月)
	「 日立のさくらを楽しむ講座 」開催 日立市さくらのまちづくり市民会議と共催(3月)
	「第 1 3 回さくらサミットイン日立」のガイドなどに協力 市長より感謝状 (4 月)
	百年塾より自立「熟年ネット・ひたち」と改称 活動拠点を「女性センター」に置く (4 月)
	会報のタイトル「J-net」を「熟年」に変更 (5 月)
H13 2001	第 1 回夏季交流会実施 (7 月) 第 1 回 1 泊研修旅行実施 (10 月)
	「J-net オカリナ」 発足 ボランティア演奏を目指す (10 月)
	日立商工会議所主催バスツアー「日立の工業 昔と今」のガイド実施 (11 月)
	第 1 回総会を開催 年間の活動方針を決定 (4 月)
H14 2002	銀座通りに事務所を開設 会としての形を整える (5 月)
	女性センター祭りに初参加 (10 月)
	「熟年ネット・ひたち」の活動状況を紹介する ホームページ開設 (11 月)
H15 2003	「金砂大祭礼」で大みか・水木両駅前案内 5 日間空前の人出で賑わう (3 月)
	「ひたちおもちゃの病院」 発足 こわれたおもちゃの修理を開始 (7 月)
	「シニアの会」 発足 ボランティアグループ連絡会機関紙「なかま」の編集担当 (8 月)
H16 2004	「熟年ネット・ひたち」会則制定 (4 月)
	「ひたちおもちゃの病院」四診療所体制となる (5 月)
	「グループ・ピニオン」 発足 老人保健施設「しおさい」に定期訪問開始 (5 月)
	物を大切にしよう「本の有効活用」を掲げ 「なるてす会」 発足 (5 月)
	弁天町に事務所を移転 「熟年ネット・ひたち」の看板を掲示 (7 月)
	内閣府の「社会参加活動事例」に選ばれ書状と盾を受ける 日立市第 1 号 (9 月)
H17 2005	「ひたちおもちゃの病院」百年塾フェスタで出張診療し 65 件修理 (11 月)
	「熟年ネット・ひたち」創立 10 周年記念式典 パーティーを実施 (12 月)
	「ウォーク会」 発足 健康維持を目的に毎月 1 回ウォーキングを実施 (4 月)
	第 1 回「ひたちおもちゃの病院」総会開催 (4 月)
H18 2006	「団塊の世代をどう生きる」と題して茨城新聞に掲載 (5 月)
	「ハーモニーフレンズ」 設立 10 周年 記念演奏会実施 (11 月)
	福祉プラザ「おもちゃライブラリー」火曜日担当として 「J&B グループ」 発足 (7 月)
H19 2007	「ひたちおもちゃの病院」十王診療所発足 (9 月)
	第 1 回日帰り社会見学バス旅行実施 (7 月)
H20 2008	「シニア地域入門講座」 を日立市社会福祉協議会と共催 (5 月)
	「ハーモニーフレンズ」 県知事より表彰 (1 月)
H21 2009	「ひたちおもちゃの病院」 日立市社会福祉協議会より表彰 (10 月)
	「ひたちおもちゃの病院」が「定年時代」「常陽藝文」に掲載 (3 月)
	J-net のロゴマークを募集 イメージをわかりやすく表現したものに変更 (4 月)
	「グループ・ピニオン」 日立市社会福祉協議会より表彰 (10 月)
H22 2010	「J ネット・オカリナハート」が助成金を受けプロジェクターを導入 (10 月)

10 周年 記念式典&パーティー開催



掛札代表の挨拶 記念誌 立食パーティー



鈴木啓三氏の講演会 この講演会が J-net 発足の動機となった ハーモニーフレンズ デビュー



茨城大・小島教授の講演会 (J-net 初) さくらまつり初のお手伝い 百年塾時代の J-net 会員



観光案内(小平記念館) パソコン研究会発足 シニア講座開講 桜のてんぐ巣病防除手伝い



日立のさくら講座開講 第1回夏季交流会(ピスター里美) 第1回一泊研修旅行(塩原) 「日立の工業 昔と今」ガイド



オカリナハート初演奏(笠間にて) 第1回総会を開催 女性センターまつりに初出展



金砂大祭礼で案内(大みか駅、水木駅) おもちゃの病院発足 第1回手作り正月飾り



グループ・ピニオン発足 「しおさい」で活動開始 なるてす会の発足 各種バザーに参加 おもちゃの病院 出張診療 百年塾フェスタ 2004 事務所移転 (弁天町)



ウォーク会発足(海浜公園) ハーモニーフレンズ 10 周年記念演奏会 J & B グループ発足 表彰状



第1回日帰り研修(NHK 他) おもちゃの病院「定年時代」「常陽藝文」掲載 内閣府の「社会参加活動事例」に選ばれた 内閣官房長官名の書状と盾



シニア講座 社協と共催 オカリナハート 助成金で プロジェクターを導入 グループ・ピニオンの「しおさい」での活動 表彰状



ホームページ 開設 第2回リニューアル 第4回 第5回(現在) 社協より表彰



創刊号 第13-02号 第17-02号 第21-04号

会報